

第2回 横浜市戸塚区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会会議録	
日 時	平成 27 年 3 月 26 日 (木) 9 時 30 分～16 時 10 分
開 催 場 所	戸塚区役所 8 階中会議室 2
出 席 者	選定委員：新井 敏行、石井 利明、落合 清子、高村 美智子、田辺 由美子、 西尾 敦史 (委員長)、宮坂 俊彦、鷺見 悦子 (50 音順) 事務局：嘉代 哲也 (福祉保健課長)、林 正隆 (福祉保健課事業企画担当係長) 小林 満 (福祉保健課)、田中 芳晴 (福祉保健課)
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開 (傍聴者 0 人)
議 題	1 応募法人の面接について 2 指定管理者の選定審査について
決 定 事 項	1 指定候補者を選定しました
議 事	<p>(事務局) 応募書類による調査について、市税滞納状況の調査及び、役員が暴力団体とかかわりが無いかの調査及び、財務状況調査の結果についてはいずれも問題ありませんでした。</p> <p>(委員長) それでは応募法人の面接審査を始めます。 (応募法人のプレゼンテーション)</p> <p>【東戸塚地域ケアプラザ】</p> <p>(委 員) 増えている相談件数は？ (法 人) 新規転入者、民生委員からの相談が増えています。</p> <p>(委 員) 町内会活動が盛んな区域とそうでもない区域が混在しているが？ (法 人) 前者については、ご自身から、後者については、見守り活動を行っている周囲からの相談が多いです。</p> <p>(委 員) 東戸塚ケアプラザは合築施設？ (法 人) 地区センター、療育センターとの合築施設であり、さらに東戸塚駅周辺には地域活動ホーム、子育て支援団体が活動しています。</p> <p>(委 員) 各施設との連携は？ (法 人) 高齢者団体に限らず、障がい者団体、子育て支援団体とも連携しており今後も連携していきます。</p> <p>(委 員) マンションへのアプローチをしているか？ (法 人) 管理組合にも広報誌をお届けしたり、できるだけ連携していくようにしています。</p> <p>(委 員) 介護予防の講座は？はまちゃん体操は活用しているか？ (法 人) ノルディックスキーの講座を開催しています。</p> <p>(委 員) (応募関係書類に記載がないが) 保健活動推進員を知っているか？ (法 人) 知っています。</p> <p>(委 員) (市内で) 貴法人が地域ケアプラザを 17 館運営しているがメリットは？ (法 人) 地域と連携することをこころかけています。</p>

【上倉田地域ケアプラザ】

(法 人) ①運営ビジョン、②ネットワークの構築、③自主企画事業を中心にお話します。

①について

平成 28 年度に行う包括エリアの変更を踏まえ、新エリアの方々にはきめ細かく対応していきたい。

②について

出あった人 1 人 1 人を大切に、顔の見える関係づくりを大切にしていきたい。

各部門の連携のため、毎日（出られる人だけ 1 人でも）小さな打ち合わせを励行している。

③について

個別の課題やニーズにきめ細かく対応していきたい。3 職種＋コーディネーターを含めネットワークを構築しつつ様々な事業を展開していきたい。

(委 員) ネットワーク構築の具体策は？

(法 人) 見守り活動について、各職種が連携して見守り活動を展開しており、地域ケア会議の課題抽出につなげていきたい。

(委 員) 子育て分野で、0 歳児の親でこどもの対応がわからないとの相談を聞く。ケアプラザでは何か行っているか？

(法 人) マンションの住人を対象に「はじめの 1 歩」という講座を行っています。保育士や、主任児童委員との連携を深めていきたい。

(委 員) 下倉田地域ケアプラザと同一の運営法人であることのメリットは？

(法 人) 現在の下倉田地域ケアプラザのエリアはもともと上倉田地域ケアプラザエリアでした。

現在も下倉田地域ケアプラザとは共同で事業展開をしています。

【平戸地域ケアプラザ】

(法 人) ①運営ビジョン、②全部門共通によるミーティングの開催、③自主企画事業を中心に話します。

①について

主にとつかハートプランの推進に区と協働して推進していきます。

②について

ミーティングの開催、各部門合同会議の開催を朝のミーティングで行っています。

法人内の連携としてベタニヤホームと共同してリスク対応の研修を行っています。

③について

赤ちゃんのふれあい教室の実施、平戸手話教室の開催により災害時における手話通訳の養成に努めています。

(その他)

総合相談支援としてさまざまな問題の全てを受け止めようと努めています。

平戸地域ケアプラザエリアの高齢者の状況として65歳以上の方が平均で22.1%に達しています。地域差があることは認識していますが、熱心な民生委員児童委員、保健活動推進員、主任児童委員の方々と協働して見守り活動を展開しています。

(委員) 平戸1丁目の高齢化率が低いのはなぜ？

(法人) 大規模マンションの建設により、若い世代の流入があることが考えられます。

(委員) 平戸4丁目の高齢化率が高いのは？

(法人) 40年前に開発された新興住宅地があるためと思われます。

(委員) 高齢者の総合相談に内容は？

(法人) 45%が①介護保険、②施設入所、③医療に関する相談になります。地域活動交流事業では、障がい者に関する事業も展開しています。

(委員) 開催頻度は？

(法人) 月1・2件のペースです。

(委員) 戸建てとマンションの比率は？

(法人) 概ね戸建が6割、マンションが4割との印象。

(委員) 臼、杵を活用しているようだが？

(法人) 地域から寄付された臼・杵を平戸ケアサポート祭りで活用したところ、好評で、まだ臼・杵を持っていない地区に貸し出しするようになった。

(委員) 地域のネットワークづくりの一助として「子育て支援マップ」を作成したのは良いが、団体ごとに横のつながりがあるか？

(法人) 横のつながりを保つのは難しい。地区社会福祉協議会や個人的なつながりがもとになっています。

(委員) 毎月第3者委員会を開催しているようだが？

(法人) 各地区の民生委員を主体として部屋利用、事故報告、苦情対応等について話し合っています。

(委員) 今後のビジョン、課題は？

(法人) 町内会への加入率はおよそ72%。従来のネットワークでは把握しきれない方々をどうすれば良いのかが課題です。

【原宿地域ケアプラザ】

(法人) まず基礎知識を。

- ・エリア内人口はおよそ49,000人で区内最大
- ・高齢者人口も17,000人で、ともに区内最大となっています。当ケアプラザは地域住民の主体的な行動をサポートしていくとともに今まで培ったネットワークを通して地域のもっとも困っている方々に手を差し伸べていきたいと考えています。
- ・今後は、戸塚区の地域ケア会議とも主体的に連携していきたい。また、民生委員児童委員協議会、保健活動推進員会などともより一層連携を深めていきたい

(委員) 2館分の仕事量があるのに離職率が低いようだが、離職率が低いのはなぜ。2エリア分事業を運営しているのならやることが多いのでは。

- (法人) ①職員に恵まれました。
②問題が起きたときに1人で抱えないように複数で対応するようにしています。
③月1回程度で聖母の園(同じ聖母会)と合同で様々な研修会を行っています。

(委員) 戸塚区で1館増えるかもしれないが、そうなったら参加するのか。

(法人) まだ未定です。人材の確保という問題もあります。

(委員) 財務状況について平成25年度は当期資金差額がマイナスになっているが？

財務状況は聖母会全体の指標のため、病院の建替え費用、病院検査装置のリース、購入費用、修繕費用等を含んでいます。

【舞岡柏尾地域ケアプラザ】

- (法人)
- ・誰もが気軽に立ち寄ってもらえる地域ケアプラザをめざします。
 - ・災害時の対策としてBCPに注力しています。
 - ・いつまでも健康でいきいき過ごすための講座は好評でした。
 - ・戸塚警察署と協働でオレオレ詐欺防止の啓発メモ帳を作成しました。
- (委員) ケアプラザで(総合的な)福祉相談を行えるのは良い案。障がいに関する相談は？
- (法人) 子育てに関する相談はあるが、障がいに関する個別的な相談はカウントしていない。
- (委員) 舞岡病院が周辺にあるが、定期的な交流は？
- (法人) 福祉安心講座の中で舞岡病院の先生に講師を依頼したり、円滑に連絡を取り合っています。
- (委員) 横浜市福祉サービス協会は18館の地域ケアプラザで業務を受託している。人的な交流は？
- (法人) 正規職員15名は本人の意向をくみながら定期的に人事異動を行って

います。ボランティア職員については、地域に密着しており異動は難しい。

(委 員) 戸塚区の特長は？

(法 人) 地域ケアプラザエリア内に3連合町内会がありそれぞれに特長があるという印象です。3連合の連携は良いと考えます。

(委 員) 今まで子育て支援に注力していたコーディネーターが退職すると聞いているが今の流れを是非つないでほしい。

(委 員) 地域ケア会議、障がい分野、子育て、高齢者の分野の事業もまんべんなくやっている。今後も地域ケアプラザを中心に地域とともに活動してほしい。

(法 人) 是非要望に応じていきたいと思います。

(委 員) キャラクター（まいかちゃん）の意味は

(法 人) 10年ほど前に一般公募で決まりました。柏の葉っぱに乗っています。

【南戸塚地域ケアプラザ】

(法 人)

法人の概要説明

- ・昭和43年旭区に開設した診療所が発端。
- ・昭和61年発足の「太陽の國」を手がけ特別養護老人ホームを手がける。
- ・現在3地域ケアプラザの指定管理者になっています。
- ・安全、安心、健康のトータルヒューマンライフケアをめざします。

〔南戸塚地域ケアプラザのモットー〕

- ・誰でもいつでもケアプラザ、あなたのおそばに南戸塚（キャッチフレーズ）
- ・地域の方々の生活感を共有します。
- ・地域の方々のお話を聞く大切さを認識しています。
- ・傾聴講座を重視しています。
- ・月1回の職員会議では様々な情報を共有しています。
- ・ハートプラン、地域ケア会議では戸塚区社会福祉法人福祉協議会や戸塚区と協働していきます。
- ・ふれあいポイント事業を活用し介護予防の推進や地域との協働をめざします。
- ・民生委員による地域の見守り活動を支援します。
- ・今後も地域の方々と連携して、「住んで良かった」と思われる地域ケアプラザをめざします。

(委 員) これだけは他の地域ケアプラザに負けないというものは？

(法 人) 職員全員で決めたキャッチフレーズにすべてが込められている。常に地域に寄り添っていきたいと考えています。

(委 員) ふれあいポイントの見直しは？

(法 人) 20店舗の協力を得てカード発行枚数も2,000枚を超えた。

現在検討委員会で検討中です。

(委員) 新規事業は？

(法人) 地域の診療所の方々と顔の見える関係を築きまもり活動や緊急時の協力を得られるよう活動しています。

また介護予防推進事業については、地域ケアプラザにとどまらず、地域に積極的に向出くようにしています。

(委員) 域内の高齢、障がい、子ども分野の事業の把握は？

(法人) 小学生を対象にした障がい者余暇活動支援事業を中学生にまで拡大して開催している。

地域の作業所とも連携しており、ケアプラザまつり（南秋祭）や運営協議会に積極的に参加していただいています。

(委員) アピールしたいことは？

(法人) 地域ケアプラザは地域の福祉保健の要と思っています。（今後もその役割を担っていきたい。）

【下倉田地域ケアプラザ】

(法人) 運営ビジョン、地域ネットワークの構築、自主企画事業、多職種協働について説明します。

〔下倉田地域ケアプラザのモットー〕

- ・気軽に自由に相談できる場所をめざします。
- ・そのためには普段から地域の方々との顔の見える関係が大切です
- ・（エリアマップを参考に）

住民人口は横ばいで、昭和30年代に開発した住宅地に暮らす方たちが多い。今後人口の減少、高齢化の進展が見込まれます。

若い人たちにも地域ケアプラザがあることによって（子育てなどで）安心感を持ってもらえるようめざします。

・私たちは地域ケアプラザの4事業〔地域包括支援センター事業、地域活動・交流事業、高齢者デイサービス事業、居宅介護支援事業〕とも地域のことを良く理解しています。

・今まで培ったネットワークづくりのおかげでケアプラザ祭り開催時には多数の方がボランティアとして参加していただきます。

・地域活動交流事業でも

介護予防、子育て支援事業、地域ケア会議への参加（自分たちは今後どうしていくべきか）、地区社協サロンをつうじて下倉田地区社会福祉協議会への支援等にも積極的に関わっています。

(委員) 域内の端に地域ケアプラザがあるがデメリットは？

(法人) 一部の地域からは来にくいという声があります。コミュニティバスを導入してほしい。なので、介護予防推進事業などは地域に積極的に向出い

ています。

(委員) 地域ケアプラザ祭りに150名ものボランティアが集まるのはすごい。

(法人) 活動している団体に積極的に参加していただいている。他にも個人組織の参加者、連合町内会関係者など多数参加していただいています。

(委員) ピンピンコロリとは？

(法人) 死ぬ直前まで病気等にかからずポックリ寿命をまっとうすることをめざした事業です。

(委員) 幼稚園が3つもあるのだから若年層が多数いるのでは

(法人) 他の地域からも来ています。

(委員) リユースの取り組みは素晴らしい。

(法人) はい。(有難うございます。)

【上矢部地域ケアプラザ】

概要説明

・ であい (障害者自立支援施設) 60名定員

・ ソレイユ栄 (障害者支援施設)

[モットー]

・ 安心して託される施設をめざして、利用者の家族のニーズに添ったサービスを提供していきます。

・ 地域との親睦交流を深めます。

・ 事業全体の経営の安定化をめざします。

・ 2025年には鳥が丘は37パーセントの高齢化率を迎えますが、そのような中安定した経営ができるよう努めます。

・ 地域との交流のためふれあいフェスティバルを開催しています。

(委員) であい (障害部門) と地域ケアプラザの人事交流は？

(法人) 地域ケアプラザの4職種は専門性が高いので難しい。

(委員) 子育て応援カレンダーを毎月発行していて良い。できれば上矢部地区センターの情報も掲載してほしい。

(法人) 連絡先は掲載しています。

(委員) 高齢者の居場所づくりとは？

(法人) 喫茶コーナーを利用したダーツやボッチャが流行っており参加者は20名以上になる。

(委員) 「保健活動推進委員」ではなく「保健活動推進員」ですが、知ってましたか？

(プレゼンテーション資料の記載が保健活動推進委員になっていた。)

(法人) すみません。

(法人) 今後いい企画があればどんどんやって行きたいと思います。

(委員) ボランティア育成のプレゼンテーションをお願いします。

	<p>(委員) フェイスブック等ITの活用は？</p> <p>(法人) 広報誌も有効に機能していて不便は感じていない。</p> <p>(委員) 全体についてアピールを</p> <p>(法人) 居宅介護、包括の実績が月140件を超える。そういう状況でもきちんとやっていきたい。</p> <p style="text-align: center;">(採点・集計)</p> <p>(事務局) 集計の結果をお伝えします。</p> <p>東戸塚地域ケアプラザについては、最低基準点を満たしているため、社会福祉法人横浜市社会福祉協議会を指定候補者とします。(1,600点中1,248点)</p> <p>上倉田地域ケアプラザについては、最低基準点を満たしているため、社会福祉法人開く会を指定候補者とします。(1,600点中1,224点)</p> <p>平戸地域ケアプラザについては、最低基準点を満たしているため、社会福祉法人聖ヒルダ会を指定候補者とします。(1,600点中1,232点)</p> <p>原宿地域ケアプラザについては、最低基準点を満たしているため、社会福祉法人聖母会を指定候補者とします。(1,600点中1,238点)</p> <p>舞岡柏尾地域ケアプラザについては、最低基準点を満たしているため、社会福祉法人横浜市福祉サービス協会を指定候補者とします。(1,600点中1,234点)</p> <p>南戸塚地域ケアプラザについては、最低基準点を満たしているため、社会福祉法人朋光会を指定候補者とします。(1,600点中1,190点)</p> <p>下倉田地域ケアプラザについては、最低基準点を満たしているため、社会福祉法人開く会を指定候補者とします。(1,600点中1,227点)</p> <p>上矢部地域ケアプラザについては、最低基準点を満たしているため、であいの会を指定候補者とします。(1,600点中1,215点)</p> <p>(委員長) それでは皆様、事務局から説明があったとおり、応募法人を次期指定管理者の指定候補者としてよろしいでしょうか。</p> <p>(全委員) 異議なし。</p>
<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特 記 事 項</p>	<p>1 資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 指定管理者公募に伴う団体役員等の照会結果について ・ 指定管理者の選定における市税納付状況確認の照会結果について ・ 財務分析結果報告書